

4章 管理ソフトウェア編

2012年6月版

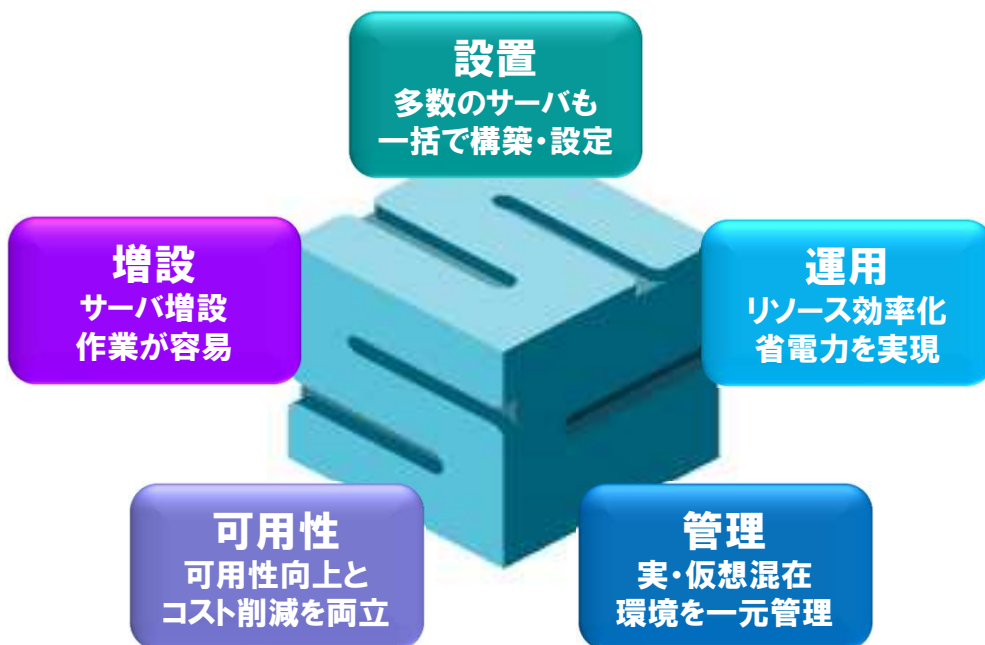
管理ソフトウェア(SigmaSystemCenter)

SigmaSystemCenter

SigmaSystemCenter

SigmaSystemCenter (シグマシステムセンター、以下SSC) は、プラットフォームの統合管理ソフトウェアです。

サーバ、ストレージ、ネットワークといった物理リソースと仮想環境の統合管理を実現します。異なる仮想化基盤を同一の管理画面・同一の操作性で簡単に管理することができ、システム管理者のTCO削減に役立ちます。ポリシーベースでの自律的な省電力運用、障害復旧、高負荷時のスケールアウトなどの多彩な機能を備え、システムの状況に応じてリアルタイムにリソースを最適化することが可能です。



■特長

▶ 物理環境と仮想化環境の統合管理

物理環境と仮想化環境の区別なく、各リソースの稼働状態の把握や電源のON/OFF、マシンの増設などを一元的に管理することができます。

▶ 負荷に応じたサーバリソースの有効活用

GUI操作やスケジュール設定により簡単にサーバの構成や業務用途を変更することができ、ITリソースを無駄なく活用。

また、仮想化環境の場合は、仮想化基盤サーバが適正負荷の範囲で稼働するように仮想マシンを最適配置。最適配置後に余剰の仮想化ホストをシャットダウンすることで省電力運用を実現。ITリソースの有効活用が可能です。

▶ シンプルな設定で強力な自律運用を実現

標準定義された復旧方法を選択することにより、万一の障害発生時でも自動復旧させることが可能。最小1台の予備サーバを用意しておけば、複数の業務サーバに対して、予備サーバで自動復旧ができます。

SigmaSystemCenterの詳細は、以下のWebサイトをご覧ください。

<http://www.nec.co.jp/sigmasystemcenter/>

管理ソフトウェア(SigmaSystemCenter)

製品体系

規模やご利用になる機能に応じて3つのエディション(※)を用意しています。

※別途管理対象ライセンスが必要です。

SigmaSystemCenter Basic Edition

小規模システム向けのイントロダクション製品です。

管理可能なマシンの台数は8台までに制限されていますが、Standard Editionのすべての機能を使用することができます。

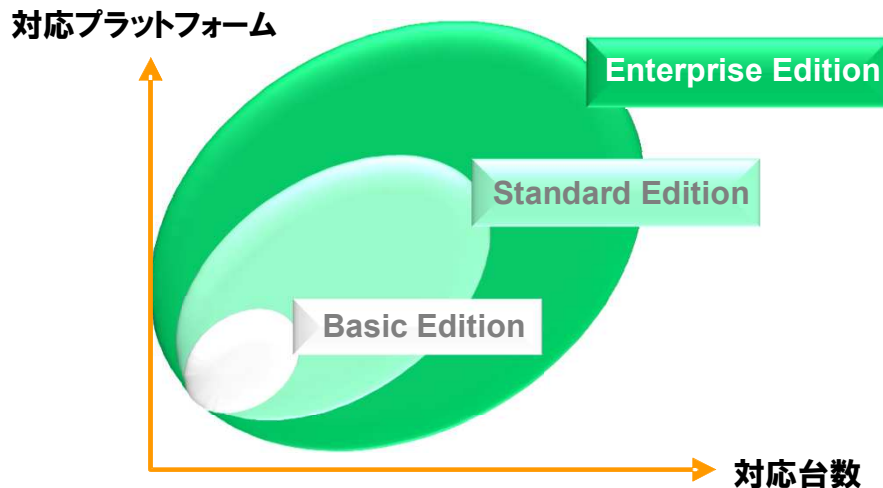
SigmaSystemCenter Standard Edition

100台までのマシンを管理可能な中規模システム向けのエディションです。

SigmaSystemCenter Enterprise Edition

管理台数に制限のない大規模システム向けのエディションです。

Standard Editionの機能に加え、仮想サーバ管理オプションを含んでいます。



型番・価格など、SigmaSystemCenterの構成に関する詳細は、以下のページをご覧ください。
「システム構成ガイド ソフトウェア編 <運用管理>プラットフォーム管理」

※以下のWebサイトでも情報公開しています。

<http://www.nec.co.jp/products/express/systemguide/swguide.shtml>

→SigmaSystemCenterの概要と構成例